

# 利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-E22
- 2 報告者 JOONMAN PARK 株式会社 伊勢半
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 皮膚バリア機能解明へ向けたセラミド分析条件の探索
- 5 使用装置名 QTRAP 4500 system (AB Sciex)
- 6 利用期間 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要  
本研究は安定したセラミドプロファイリングを可能とするLC-MS分析条件の探索を目的としていた。それに応じCer STDにおいて高感度・高分離能での検出を成功させた。また、1測定当たりの所要時間も20分以内に収めることができ、多数のサンプルを短時間で分析可能とした。ヒト由来試料は有意なデータを得ることが出来ず、精製手法のさらなる検討が必要だと判明した。しかしながら、世間でのセラミド分析は順相分析がスタンダードであり、逆相分析によるアプローチは数少ない。Cer STDだけにおいても逆相分析を成功させた価値は高いと考える。
- 8 社会・経済への波及効果  
より肌にやさしい化粧品を開発するための指標として、CERプロファイルの研究が重要である。皮膚の荒れ状態とCERの関係を調べ、CERの総量だけでなく、特定のCER種とその鎖長が肌の角質層機能の維持に大きく影響を与えること等の情報が得られると期待する。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し